

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 図書館		
総合計画体系			根拠法令 計画など			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	15年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると			終期	未定
(小項目)		0				
施策	2	市民参加の図書館運営の推進				
基本事業	2	市民参加による図書館運営の推進とサービス向上				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	多くの市民が参加する効率的な図書館運営						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		運営・行事に参加した述べ人数	5,200	5,700	5,700	5,700	5,700	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	7. 8月に実施した「鳴門市立図書館サービスに関するアンケート調査」を基に、今後の図書館運営についてNPO法人と協議した。 また、図書館における行事をNPO法人が主体的に企画運営ができるように、職員は定期的にNPO法人と話し合い、理解しあうように努めた。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ボランティア正会員数	113	114	110	110	110	人
	2	図書館等での行事件数	217	218	200	200	200	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>		運営・行事に参加した述べ人数	5,692	5131	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		90.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	6,050	6,050	6,050	6,050	6,050	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
一般財源	6,050	6,050	6,050	6,050	6,050			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		40,633	45,138	36,128	36,128	36,128	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	5.0	6.0	4.0	4.0	4.0		
	臨時職員等(2,012千円/人)	4.0	3.0	5.0	5.0	5.0		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		46,683	51,188	42,178	42,178	42,178	千円	

【事務事業名:NPO法人との協働による図書館運営事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成26年10月より、開館時間を9:00～19:00(開館日全て)とし、NPO法人に窓口業務委託の拡大を行う。平成26年10月からの委託料は協議中である。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	図書館利用者が増え、図書館職員数だけではサービスの維持はできない。また、図書館運営に市民の声が素早く反映されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 市民参加の図書館運営の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	学生から高齢者までがそれぞれの時間で図書館業務に参加し、市民感覚の意見を出し合い、図書館サービス向上に繋がっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	一部業務委託において、図書館業務研修を行いカウンター業務の分担を検討すると効率が上がると思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	図書館の効率的な運営のため、現在の図書館業務一部委託を窓口業務委託の拡大を行う。しかし、NPO法人に図書館業務全般の運営経験が乏しいため、当面は職員と共に業務に当たり業務を引き継ぐ必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 10月 ▼			
	どのように改革するのか	平成26年10月より、開館時間を9:00～19:00(開館日全て)とし、NPO法人に窓口業務委託の拡大を行う。			